

「日置市都市計画マスタープラン（素案）」に係るパブリックコメント手続の実施結果について

- 1 意見の募集期間 平成30年12月7日（金）～平成31年1月7日（月）
- 2 意見の提出者数 2人
- 3 意見の件数 5件
- 4 意見の処理状況

項目 処理区分	計画編												計
	第1章 日置市都市計画 マスタープランについて			第2章 全体構想		第3章 地域別構想					第4章 実現方策の検討		
	1. 都市計画 マスター プランの 位置づけ	2. 計画対象 範囲と目 標年度	3. 計画の 構成	1. 日置市の 将来の姿	2. 分野別方 針	1. 地域別構 想の位置 づけと地 域区分	2. 東市来地 域のまち づくり方 針	3. 伊集院地 域のまち づくり方 針	4. 日吉地域 のまちづ くり方針	5. 吹上地域 のまちづ くり方針	1. 都市計画 の見直し 方針	2. 都市計画 の運営・ 管理の検 討	
A 意見の趣旨等を計画案に盛り込むもの													
B 意見の趣旨等を計画案に盛り込み済みのもの													
C 意見の趣旨等を今後の参考とするもの				3									3
D 意見の趣旨等を計画案に盛り込まないもの													
E その他（要望・意見等）				2									2
計				5									5

項 目
第1章 日置市都市計画マスタープランについて
1. 都市計画マスタープランの位置づけ
2. 計画対象範囲と目標年度
3. 計画の構成
第2章 全体構想
1. 日置市の将来の姿
2. 分野別方針
第3章 地域別構想
1. 地域別構想の位置づけと地域区分
2. 東市来地域のまちづくり方針
3. 伊集院地域のまちづくり方針
4. 日吉地域のまちづくり方針
5. 吹上地域のまちづくり方針
第4章 実現方策の検討
1. 都市計画の見直し方針
2. 都市計画の運営・管理の検討

処 理 区 分
A 意見の趣旨等を計画案に盛り込むもの
B 意見の趣旨等を計画案に盛り込み済みのもの
C 意見の趣旨等を今後の参考とするもの
D 意見の趣旨等を計画案に盛り込まないもの
E その他（要望・意見等）

番号	項目	ページ	意見内容	処理区分	意見内容に対する日置市の考え方
1	2-1		通信環境整備も計画化を検討ください。日置市で育った子供が生産人口として定着／戻ってくる。また、外部から生産人口が日置市を選択して移住してきやすい都市計画が必要と考えています。子供の教育や親の仕事を考えた時に、少なくとも足枷にならないようなものを望みます。	E	都市計画マスタープランは、本市の将来あるべき姿やまちづくりの方向性を定めるものでありますが、通信環境整備につきましては、関係部署で貴重な御意見として情報を共有して参ります。
2	2-1		自動運転を意識した都市計画にしてください。官民ITS構想では、2035年以前に自家用車および物流／移動サービスの完全自動化技術実現が想定されています。自動運転導入レベル／範囲が異なればインフラ要件や地域の人／モノの流れも異なると考えます。	C	自動運転につきましては、現在試行中のものでありますが、具体的に交通体系にどのように影響するのか、また、法制度等、今後の動向を注視していきたいと思います。
3	2-1		景観条例の導入を検討してください。具体的には観光ルートにおける大規模太陽光発電施設や廃車置場としての利用に制限すべきと考えています。	C	景観条例につきましては、全体構想の分野別構想の中で、景観形成の方針として、お示ししているところです。今後、状況に応じて対応していきたいと思います。
4	2-1	7	「訪ねてよし」の来訪者セグメントとユースケースを想定した計画にしてください。人口減少／高齢化の中で、来訪者による消費は地域の重要なレベニューです。都市圏の高齢者とアジア系の家族では、嗜好が異なります。ターゲットを意識し、リソース配分や優先度の濃淡を付けた計画化が必要と考えます。	E	「訪ねてよし」のテーマにつきましては、全体構想を踏まえながら、地域別構想の中でそれぞれの地域の特性や意向調査を鑑み、地域ごとにまちづくり方針をお示しし、整備の方針としてとらえており、適時、本計画の評価・検証を行い、市民の理解と協力を得ながら計画を推進していきます。

番号	項目	ページ	意見内容	処理区分	意見内容に対する日置市の考え方
5	2-1	8	<p>将来の都市構造について</p> <p>現在の都市イメージが分散しているのに対して、将来目指す都市イメージが都市間をつないでいくイメージになっている点に違和感を感じます。これからさらに人口が減少していく中で、都市機能の集約は財政上の最優先課題であろうと考えます。旧4町まんべんなく都市機能を配置するというやり方では、実は一体感の醸成は遠くなるようにも思います。(参考まで、始良市は旧町単位でのゾーニングを辞め、北部・中部・南部の3エリアでゾーニングしていますので、よろしければ参考までご覧ください。)</p> <p>戦略的には鹿児島市といちき串木野市をつなぐライン(伊集院・東市来エリア)に都市機能を集約させ、日吉・吹上エリアは山里・海岸地域としての可能性を引き出すアプローチに集中すべきと考えます。</p> <p>山里エリアとしてくる地域のなかでも、自然保全、歴史文化承継のみでなく、山村地域としての可能性を発揮しうるゾーニングはあります。最低限のアクセシビリティを維持しつつ豊かな自然環境を生かして発展している徳島県神山町などのように、通信環境の整備を最優先することで流入人口を増やしている里山もあります。より濃淡をはっきりつけた都市計画マスタープランを望みます。</p>	C	<p>本市は、平成17年に4町の合併によって誕生し、現在の都市構造は、旧町の都市構造の上に成り立っています。旧町ごとの地域の特性を生かしながらも一体の都市として連携し、機能を補完する都市構造の構築が求められます。また、少子高齢化、人口減少に対応するため、地域特性を踏まえたまちづくりが必要です。</p> <p>本計画は、上位計画である日置市総合計画に示されたまちづくりに関する方針を基に、日置市の将来都市構造を明らかにし、実現していくための総合的な都市計画の指針となるものです。</p> <p>今後、社会経済情勢の変化等に対応し、必要に応じて計画内容の見直しを行うものとしています。</p>